取扱説明書番号
D133-CXXZ

CITIZEN®

電波時計　取扱説明書
（デジタル電子音目覚まし時計）

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造
発売元　**リズム時計工業株式会社**
〒330-9551　埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

(Y1309)

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について
この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似代替品を使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理内容や送料により、修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合
お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

お問い合わせ先

お客様相談室　0120-557-005（フリーダイヤル）
受付時間 9:00 ～ 17:00（土日、祝日および当社休日を除く）
お問い合わせに際しては、製品番号（型番）「8RZ155」をお伝えください。

おもな製品仕様

項目	仕様
使用温度範囲	−10 ～ 50℃ ＊結露しないこと
液晶表示可読温度	0～40℃
時間精度	電波受信成功直後の表示精度　±1秒 標準電波を受信しない場合 平均月差 ±30 秒（温度が5～35℃のとき）
使用電池	単4形アルカリ乾電池 JIS規格 LR03　1.5V 2個
電池寿命	約1年 1日当たりアラームを30秒鳴らし、照明を3秒点灯した場合
標準電波機能	標準電波受信により日時自動修正
受信局	福島局 / 九州局自動選択
受信ON／OFF	あり
受信回数	1日8回
受信開始時刻	1時から4時、13時から16時　各時間帯の16分40秒
アラーム機能	設定した時刻にアラームを鳴らす
アラーム精度	表示時刻に対して ±0秒
アラーム音	電子音（鳴り方が変化）
音量調節	なし
スヌーズ機能	あり
オートストップ機能	あり
カレンダー	2009 ～ 2099 年対応
時刻表示形式	12時間／24時間　選択方式
照明	液晶表示部を LED で照明
温度	
表示範囲	−9.9 ～ 50℃
温度の精度	±2℃
湿度	
表示範囲	20～95%RH
湿度の精度	±10%RH
温湿度測定間隔	1分
防水機能	なし

※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなったり、表示が薄くなることがあります。40℃以上になると表示が濃くなったり、ムラに見えることがあります。
※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなることがあります。
※%RHは相対湿度を表しています。天気予報など一般には%が使われています。
※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品　電池　2個　　取扱説明書　本書　　保証書　1枚

This product is intended for the Japanese market.
Service and technical support for this product are available only within Japan.

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明　⃠は、禁止（してはいけないこと）を示しています。
❗は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

⚠警告　死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

必ず守る

誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

禁止

電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために次のことを守る
- ●電池に傷をつけたり、分解したりしない。
- ●電池をショートさせない。
- ●電池を充電しない。
- ●加熱したり、火の中に入れたりしない。

電池から漏れた液に触れない
- ●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。
アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- ●電池を取り外して、漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

⚠注意　傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

必ず守る

電池の⊕⊖を正しく入れる
逆向きに入れると液漏れや発熱の原因となります。

禁止

強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

浴室やサウナ、温室など、高温･高湿になる所では使わない
さびの発生や故障の原因になります。

ぬれた手で触らない
故障や誤作動の原因になります。

分解禁止

分解や改造をしない
けがや故障の原因になります。

禁止

下記のような場所では使わない
品質や精度の低下、部材の変形、劣化、故障の原因になります。
- ●直射日光が当たる所。
- ●暖房機器からの風が当たる所。
- ●温度が+50℃以上の所。
- ●温度が−10℃以下の所。
- ●ほこりが多く発生する所。
- ●強い磁気を発生させる機器のそば。
- ●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- ●プール、温泉場などガスの発生する所。
- ●調理場など多くの油を使用する所。
- ●ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

お手入れについて

- ●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ●ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

時計、電池の廃棄

- ●お住まい地区自治体の指定に従ってください。
- ●電池と時計を分別して廃棄してください。

静電気による誤作動について

静電気の影響により、表示が欠けたりして正常に機能しなくなることがあります。このようなときはリセットを押してください。

電池のご注意　（電池の正しい使いかた）

電池のご使用上のポイント　正しく使って事故をなくしましょう

- ●プラス（+）、マイナス（−）を間違えない。
- ●種類の異なる電池を混ぜない 。
- ●長期間使用しないときは電池を取り外す。
- ●電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- ●幼児の手が届かない所に置く 。
- ●古い電池と新しい電池を混ぜない。
- ●時計が動いていても定期的に交換する。
- ●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- ●電池を新しくするときは、全部取り替える。

電池の種類について

- ●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- ●一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

電池の寿命について

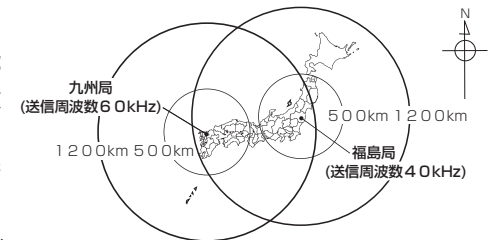
- ●付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

電波時計について

電波時計とは

クオーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な日時に修正する時計です。
標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2ヵ所にあります。

電波の受信範囲について

送信所から約 1200km 離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害（太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯（昼／夜）あるいは地形や建物の影響など）により、受信できないことがあります。
※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jjy.nict.go.jp)

この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。**海外でご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてお使いください。**

電波受信機能のON/OFF操作

受信機能 OFF（日時を標準電波で修正しない）

リセットを約1秒間隔で3回押してください。
○**「ピィ」と鳴ってから押してください。**
○OFF になると「ピィ」と鳴りません。
○日時は手動で合わせてください。

受信機能 ON（有効にして受信を開始する）

戻るを押しながら、**リセット**を押すと「ピィ」と鳴って受信を開始します。その後に**戻る**を離してください。標準電波を定期的に受信して日時を合わせます。

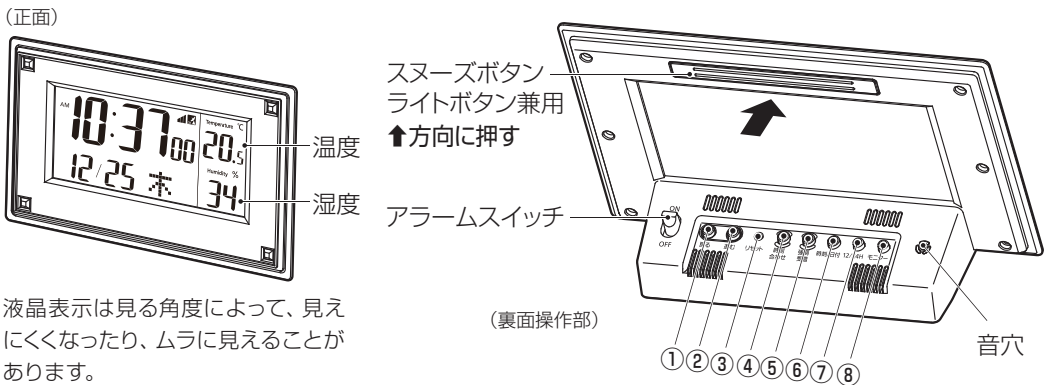
※受信機能の設定は、電池を抜いて回路内に電荷がなくなるとONになります。
※受信機能がONの場合、手動で日時を合わせても受信に成功すると日時を修正します。
※操作のタイミングによっては、ON／OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。

強制受信操作

強制受信のボタンを押すと受信マークが点滅して受信を開始します。
場所を移動したときなどに、すぐに受信を試みたいときに使います。リセット操作と異なり、受信に失敗しても日時、アラーム時刻は継続して表示します。
- ●アラームが鳴っているとき、スヌーズ状態、手動で日時またはアラーム時刻を設定しているときや電波受信機能がOFFのときは機能しません。

各部の名称と役割

○図は操作説明用ですので、実際のものと異なることがあります。

（正面）

液晶表示は見る角度によって、見えにくくなったり、ムラに見えることがあります。

スヌーズボタン
ライトボタン兼用
⬆方向に押す

アラームスイッチ

（裏面操作部）

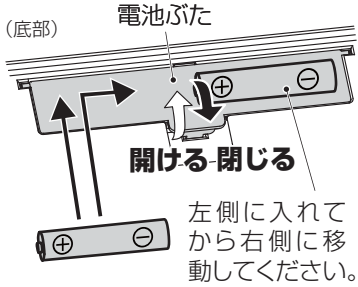
音穴

①②③④⑤⑥⑦⑧

電池のセット

電池をセットするときは、電池ぶたを開閉してください。

（底部）

左側に入れてから右側に移動してください。

単4形アルカリ乾電池　2個

⚠ **注意**　電池を逆向きに入れると液漏れ、発熱、破裂の危険があります。

① **戻る**　日時やアラーム時刻をセットするときに使います。
② **進む**

ボタン操作	押してすぐ離す	押し続ける
戻る	1つ戻る	早戻し
進む	1つ進む	早送り

③ **リセット**　電池をセットした直後に押します。
押すと2009年 1 月 1 日午前12:00、アラーム時刻午前6：00にセットされます。

④ **時刻合わせ**　手動で日時を合わせるときや時刻の表示形式を切り替えるときに使います。

⑤ **強制受信**　受信機能がONのときに押すと受信を開始します。

⑥ **時刻 / 日付切替**　表示位置を切り替えるときに使います。

⑦ **12/24H切替**　時刻の表示形式を切り替えるときに使います。

⑧ **モニター**　アラーム音を試聴するときに使います。

＊リセットは、爪楊枝（つまようじ）など細い棒状のもので押してください。

表示の切り替え

■時刻／日付優先表示切り替え

時刻/日付切替を押すと、時刻と日付の表示位置を切り替えることができます。

時刻優先表示 ⇄ 月日優先表示

■12時間／24時間表示の切り替え

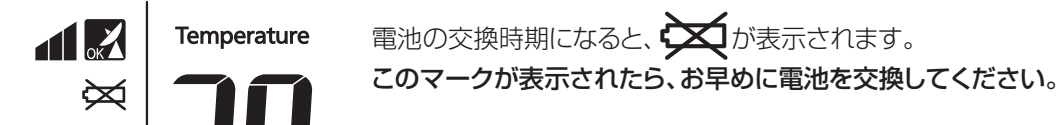
12／24H切替を押すと時刻の表示形式が切り替わります。

AM: 午前　PM: 午後　12時間 ⇄ 24時間（00:00 00～23:59 59）

●表示の切り替えは電波の受信中、アラーム状態、アラーム時刻および現在時刻の設定中は切り替わりません。

電池の交換時期お知らせ機能　早めに交換して液漏れを防ぎましょう

Temperature

電池の交換時期になると、⊠が表示されます。
このマークが表示されたら、お早めに電池を交換してください。

⚠ 注意　電池からの液漏れにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防ぐために、次のことをお守りください。

●液晶表示が薄くなったり、アラーム音が鳴らなくなったときは、速やかに電池を交換するか、電池を取り出す。

●動いていても1年に1回定期的に交換する。

●古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。

●電池の⊕⊖を逆に入れない。

標準電波を受信できない場合

●朝までそのままにしておく

一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える／受信をやり直す

電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、電波の送信所に時計の正面または裏面が向くようにして、リセットを押して受信を行って結果を確認します。

標準電波を受信できないときには、手動で日時を合わせてご使用ください。

手動での時刻合わせ……電波が受信できないとき、任意の日時に合わせるとき

操作例に従って、西暦年、月、日、時刻（時、分）の順に設定してください。

年月日、時刻（時・分）でのボタン操作

点滅表示になった数値を**進む**または**戻る**で合わせてから**時刻合わせ**を押すと数値を確定して次のステップに進みます。

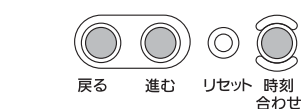
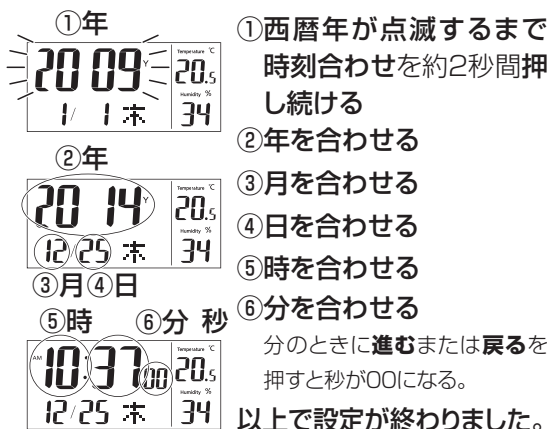
※12時間表示のときは、午前／午後の表示に注意してください。

操作ボタン

操作例　2014年12月25日午前10:37に合わせる

①年　②年　③月④日　⑤時　⑥分 秒

①西暦年が点滅するまで時刻合わせを約2秒間押し続ける
②年を合わせる
③月を合わせる
④日を合わせる
⑤時を合わせる
⑥分を合わせる
分のときに**進む**または**戻る**を押すと秒が00になる。

以上で設定が終わりました。

●約30秒間ボタン操作を中断すると、表示されている内容で設定を終わります。
●アラームが鳴っているときやスヌーズ状態、アラーム時刻を設定しているときは日時の設定はできません。
●標準電波を受信できないときの時間精度はクオーツ精度になります。

1 使いはじめるとき　電池を入れて、標準電波を受信して日時を合わせる

標準電波を利用しないで手動で日時を合わせるときには、（手動での時刻合わせ）をお読みください。

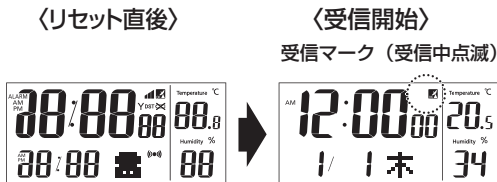
◎電波を受信しやすい窓際などに置いてください。
◎電波受信機能がONのときに、電池をセットしたりリセットを押したりすると「ピィ」と電子音が鳴ります。

❶ **電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を2個入れる**

❷ **リセットを押して受信を開始する**
◎電池を入れた後は、必ずリセットを押してください。
◎受信中はボタンに触れないでください。

❸ **20分待って受信マークで受信結果を確認する**　【受信の流れと表示】参照。

【受信の流れと表示】

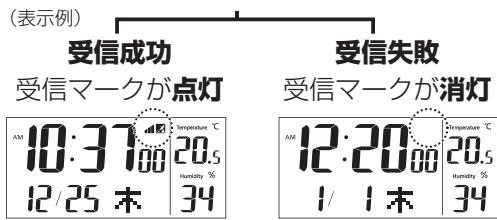
〈リセット直後〉　〈受信開始〉
受信マーク（受信中点滅）

受信中の受信マークの変化（電波サーチ機能）
電波の状態により変化します。

受信できない ▶▶▶ 受信しやすい

①　②　③　④

受信終了まで最長20分待つ

（表示例）

受信成功
受信マークが**点灯**
正しい日時を表示。

受信失敗
受信マークが**消灯**
日時は正しくありません。

受信に失敗したときは（標準電波を受信できない場合）を参照。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った日時を表示することがあります。

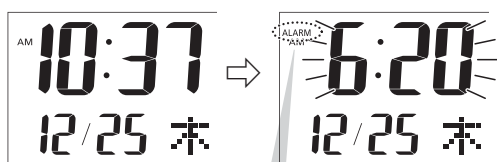
●工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
●金属製の雨戸やブラインドの近く
●地下、ビルの中、ビルの谷間など
●高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
●朝夕の時間帯、雨天のとき
●家電製品やOA機器の近く
●スチール机等の金属製家具の上や近く

受信状態のチェック

1～2分経過しても①または②の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えてリセットを押して再度受信を試みてください。

●受信マークは受信成功後、24～25時間点灯。
●受信に成功しても、電気的なノイズにより誤った日時を表示することがあります。このようなときには、場所を変えてリセットを押して再度受信を試みてください。

2 アラーム機能を使う

■ アラーム時刻の設定

12時間表示のときAM（午前）/PM（午後）の表示に注意

①アラームスイッチをOFFにする
②**進む**または**戻る**を押してすぐ離す
「ALARM」が点灯して、アラーム時刻が点滅。
③**進む**または**戻る**でアラーム時刻を合わせる
④約5秒間ボタン操作をしないと設定を終わる

■ アラームのON/OFF 設定

ONのときアラームマーク常時表示
アラーム時刻は常時表示しません。

●アラームスイッチをONにするとアラームマークが点灯し、**アラーム時刻を約3秒間点滅表示してから現在時刻または日付表示になります。**
●アラームマークが消えない内に、ON→OFF→ONにしてもアラーム時刻は表示されません。
●アラームスイッチをOFFにしないと毎日アラームが鳴ります。

■オートストップ機能（自動鳴り止め）

鳴っているアラームを放置すると約2分間鳴って止まります。

■アラーム音を試聴するには

モニターを押すとアラーム音が約2分間鳴ります。アラームが鳴っているときに再度モニターを押すと停止します。

■スヌーズ機能（止めてもまた鳴る）

アラームが鳴っているときに、スヌーズボタンを押すとアラームマーク ((•)) が点滅して約5分間アラームが停止してからまた鳴りだします。この操作は7回まで繰り返すことができます。8回目にスヌーズボタンを押すとアラームは停止し、アラームマーク ((•)) は点灯表示になります。

表示面の照明

スヌーズボタンは、ライトボタンを兼ねています。ボタンを押すと表示面が約3秒間照明されます。
※照明中は時計上方より見てください。他の方向から見ると薄くなったり、表示が見えなくなります。また明るい所では照明の効果を確認できません。

温度・湿度表示

センサーが時計内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。

測定範囲を超えたときの表示とその意味

温度「HH.H」50℃より高温　「LL.L」−9.9℃より低温
湿度「HH」95%を超えている　「LL」20%未満　「- -」測定不能（温度が5～50℃の範囲外）

設置場所について

一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。
直射日光の当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くを避けてください。
湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しのよいところと悪いところでは違いがでてきます。

㊟商取引の証明用には使用できません。また厳密な温度・湿度管理を行う用途には適していません。